

平成23年東北地方太平洋沖地震における薬剤師ボランティア活動報告書

氏名	片岡 智晃		
期間	2011/4/20～2011年4月24日	日数	5日間
活動地域	宮城県石巻市		
活動場所	湊小学校の仮設診療所と各地域の避難所		
日程と活動内容	<p>4月20日</p> <p>17:00 JALシティホテル到着</p> <p>18:00 JALシティホテル1階食堂で顔合わせ</p> <p>21:00 顔合わせ終了</p> <p>4月21日</p> <p>6:00 JALシティ四谷出発。東北自動車道経由で宮城県薬剤師会に向かう</p> <p>11:00 宮城県薬到着・引継ぎ</p> <p>11:50 宮城県薬剤師会発</p> <p>13:20石巻高校着</p> <p>13:40 各避難所周り出発</p> <p>16:25 飯野川第一小学校着 避難所は閉鎖されていました。</p> <p>16:25 大須生活改善センター着 必要に応じてOTC配布</p> <p>17:30 石巻高校着</p> <p>19:30 ミーティング</p> <p>23:00 就寝</p> <p>OTC聞き取り班は避難所を巡回して、必要に応じてOTCを配布するチームです。巡回する地区を14ブロックに分け、行った地区をチェックして何回も同じ場所を周らない様にしていました。100～200名規模の大きい避難所は、箱ごと置き薬として置いていき、小さい避難所は一人ひとり話を聞くようにしていました。咳が出る方や、手が荒れている方が多く、せき止めやハンドクリームの払い出しが多かったように思います。交通状態は悪く、地盤沈下による満潮時の冠水、カーナビに載っていない急造の道路、巡回中の余震など、注意すべき点がいくつかありました。</p>		

<b>日程と活動内容</b>	<p>4月22日</p> <p>6:45 ミーティング</p> <p>8:30 石巻高校発</p> <p>8:45 湊小学校着</p> <p>9:00 診療開始</p> <p>12:00 午前の部終了</p> <p>14:00 午後の診療開始</p> <p>16:00 診療終了</p> <p>16:10 湊小学校発</p> <p>16:30 石巻高校着</p> <p>19:30 ミーティング</p> <p>23:00 就寝</p> <p>湊小学校の診療所は医療チームがいくつか入っており、チームの薬剤師の補助をするようなかたちでした。具体的な仕事内容は 足りなくなった薬の発注 日赤からの薬の受け取り 幹事薬剤師の要望するOTCを石巻高校からもってくる 忙しいときの調剤などです。患者の数は1日平均約50人です。</p>
----------------	--

<p>日程と活動内容</p>	<p style="text-align: center;">4月23日</p> <p>6:45 ミーティング</p> <p>8:30 石巻高校発</p> <p>8:45 湊小学校着</p> <p>9:00 診療開始</p> <p>12:00 午前の部終了</p> <p>14:00 午後の診療開始</p> <p>16:00 診療終了</p> <p>16:10 湊小学校発</p> <p>16:30 石巻高校着</p> <p>19:30 ミーティング</p> <p>23:00 就寝</p>
	<p>今日も仕事内容は前日と同じような感じでした。藤沢湘南台の医療チームがこの日で撤退し、日赤長崎原爆病院に引継ぎが行われました。石巻避難所薬剤師会も次の先生へ引継ぎ完了。やはり咳が止まらない患者様が多く、咳止めの在庫が次々なくなっていました。</p> <p>この日のミーティングで宮城県薬剤師会副会長の丹野先生が来られて、お話されました。先生の薬局は海の近くだったらしく、津波のために危うく命を落とすところだったそうです。まだ行方不明の親類もいるとおっしゃっていました。実際に被災された方のお話を聞いて当時の緊迫感や、その後の悲しみなどを実感しました。</p>

	<p>4月24日</p> <p>6:45 ミーティング</p> <p>9:00 石巻高校の避難所でOTC聞き取り班の仕事を行う</p> <p>10:00 石巻高校出発</p> <p>12:00宮城県薬到着・引継ぎ</p> <p>18:00JALシティ四谷近辺到着・解散</p> <p>この日は帰京日なので、初日と同じような仕事を石巻高校の避難所で行いました。約1時間でしたが避難されている方の声をじかに聞ける有意義な時間でした。</p>
被災地の気象状況など	4月21日曇り9～12 0.076 $\mu$ Sv/h、4月22日曇り時々雨0.074 $\mu$ Sv/h、4月23日雨0.082 $\mu$ Sv/h、4月24日晴れ0.082 $\mu$ Sv/h(放射線量は仙台市)
被災状況	宮城県の死者数8618人、行方不明者数6936人、大須生活改善センターの避難者数15人、湊小学校の避難者数200～300人、石巻高校の避難者数1ヶ所で約80人
その他の情報	石巻班は現地のミーティングで湊小学校、ヤンマー、女川町立病院、女川総合体育館、石巻高校診療所、渡波小学校、遊学館、OTC聞き取りに配属され、それぞれでやることは違います。朝のミーティングの後は毎日生存確認の写真を撮ります。ライフラインはガス、電気、水。下水道も大丈夫ですが、風呂はなし。食事は自分の持っていったものを食料ストックに加え、古いものから消費していく感じです。(カップラーメン、カロリーメイト、ゼリー、おにぎりなど)炊き出しは1回だけあり。コンビニなどは開いています。
感想	1日毎にメンバーが変わるので慣れないうちに引継ぎを行わなければならず、十分に引き継げないと感じました。また人数が多いときと少ないときがあり、うまく調節してムラをなくせばもっと効率的に仕事ができると思いました。今回のボランティアで復興の手助けを十分できたかどうかは疑問ですが、得がたい経験はできたと思います。



支援物資



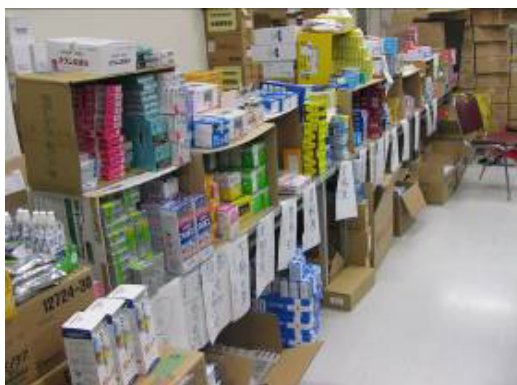
支援物資



支援物資



支援物資



石巻高校のOTCの在庫



日和山公園からの風景



石巻高校会議室



派遣先などを書いた黒板



食料



避難所周りの為の地図



湊小学校



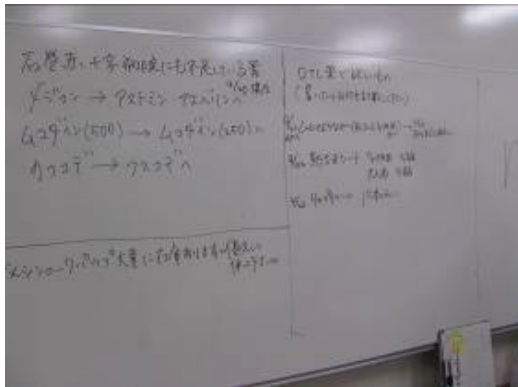
石巻高校



湊小学校の薬



湊小学校の診療所



要望などを書くホワイトボード